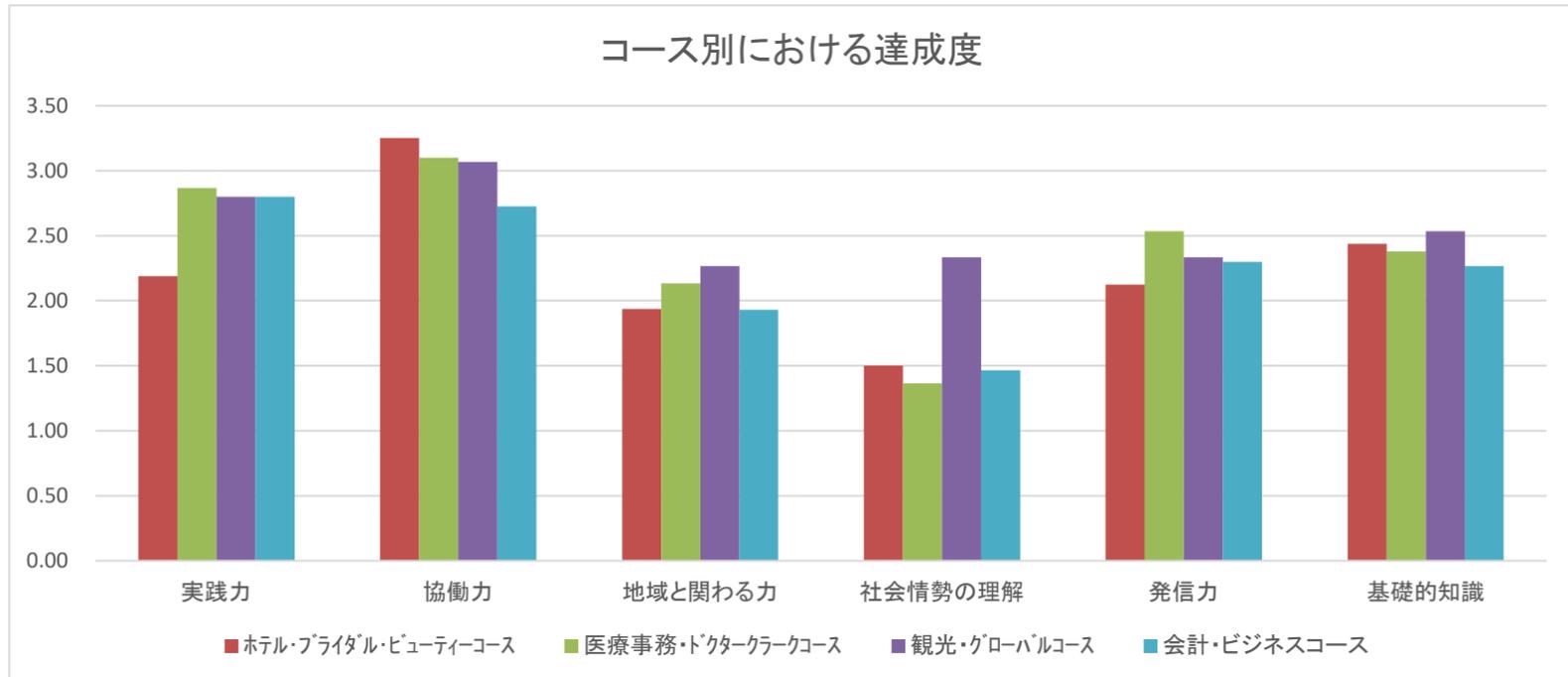
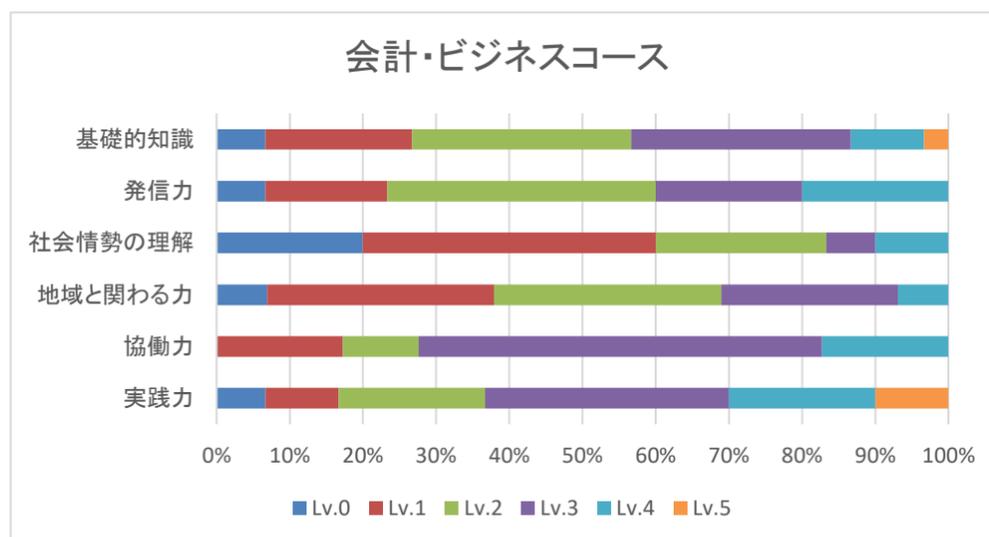
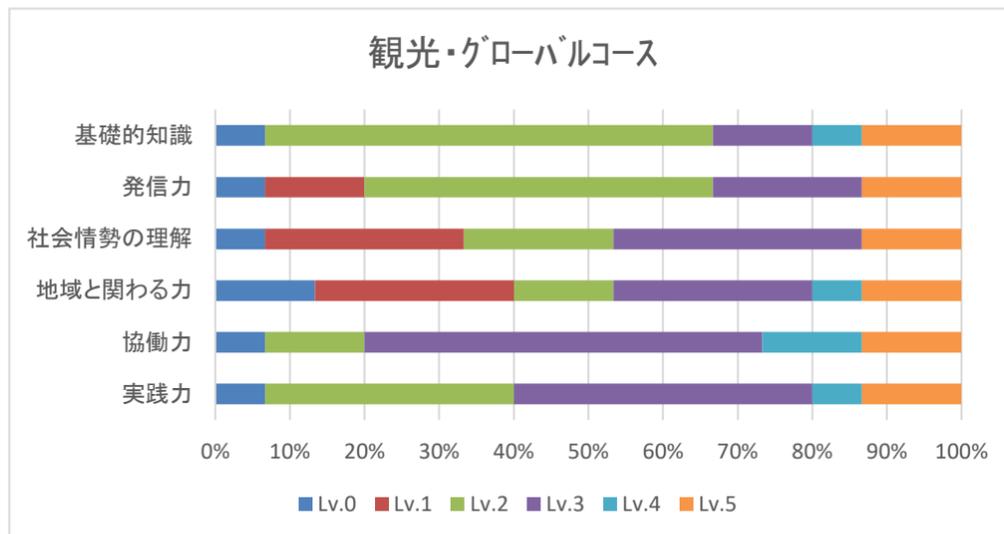
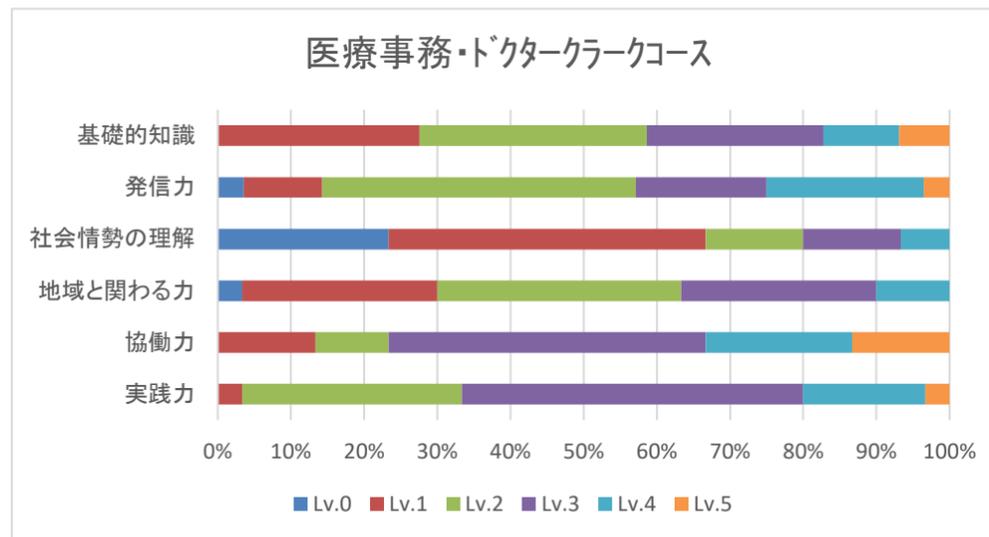
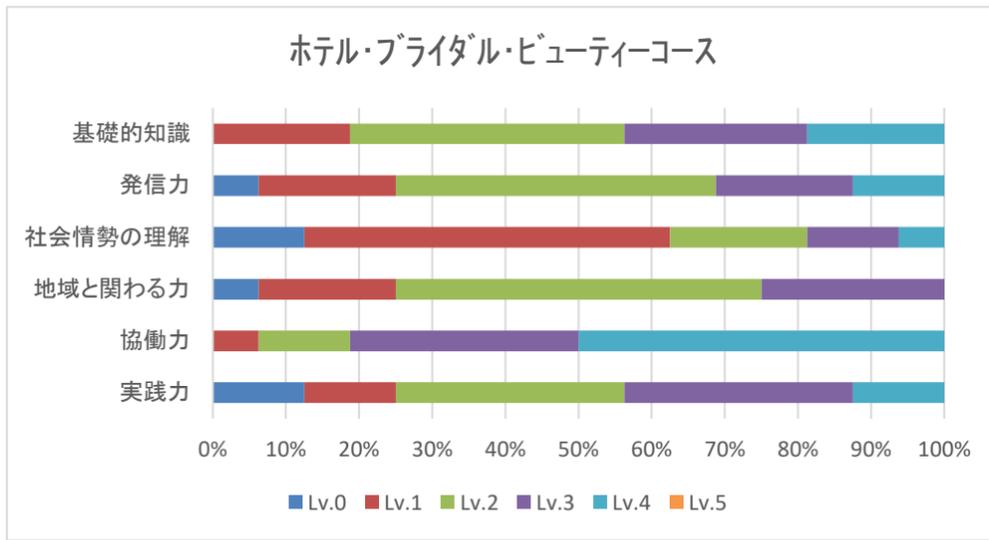
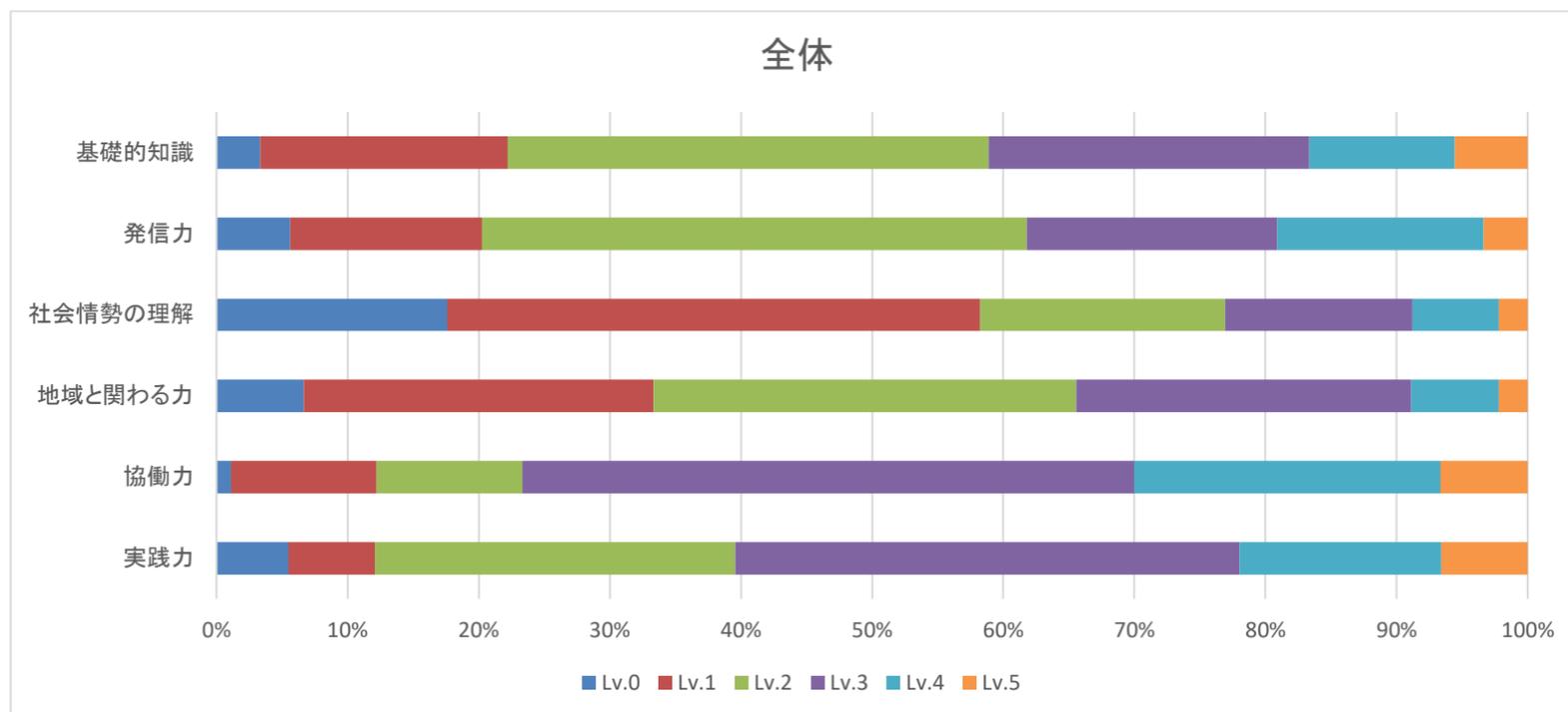


2020年度 DP(ディプロマポリシー)に関連した能力に関するルーブリック調査(アンケート)

	実践力	協働力	地域と関わる力	社会情勢の理解	発信力	基礎的知識	平均値
全体平均	2.71	3.00	2.06	1.58	2.35	2.38	2.35
ホテル・ブライダル・ビューティコース	2.19	3.25	1.94	1.50	2.13	2.44	2.24
医療事務・ドクタークラークコース	2.87	3.10	2.13	1.37	2.54	2.38	2.40
観光・グローバルコース	2.80	3.07	2.27	2.33	2.33	2.53	2.56
会計・ビジネスコース	2.80	2.72	1.93	1.47	2.30	2.27	2.25







《所見》

DP(ディプロマポリシー)に関連する能力をルーブリックの形式で学生自身が自己評価したもの。

数名のチームで取り組むグループワークが比較的多い教育プログラムとなっていることから、全体的に「協働力」が高く出ている。特にホテル・ブライダル・ビューティーコースにおいては、毎年、コース全体で“模擬ブライダル”という大きなイベントを実施していることから、そのプロセスにおいて協働力は必須であり、他コースより「協働力」の重要性を高く感じている結果かと思われる。

また、インターンシップや認定OCS(Out Campus Studies)など実社会に即した学びが必修になっていることから、「実践力」も比較的高い数値となっている。また、専門科目はコースの特徴が出た実学重視の内容となっていることも、「実践力」向上に寄与していると考えられる。

総じて低い数値となっているのが「社会情勢の理解」。観光・グローバル以外のコースは全て1.0台となっていることから、実践力はあるものの、国内外の経済および政治の状況や変化、動向などについては、関心が持てない学生が多いことがうかがえる。ビジネスにおいて、社会情勢の理解は必須であることから、それらを組み込んだ授業運営を行っていく必要がある。そのような中、観光・グローバルコースは2.33と他のコースに大きく水をあげた。他のコースは比較的専門知識に寄った科目が設置されているが、当該コースは「多文化とコミュニティ」や「海外観光事情」「グローバル化とアジア」などの科目が設置されており、他の文化や社会を知ることがコースの学びに直接つながる。コースの特性が大きく影響したと考えられる。

「地域と関わる力」において、特に地域を意識しなければならない、ホテル・ブライダル・ビューティーコースや会計・ビジネスコースが低い結果となったことも今後の課題である。フィールドワーク等、地域に触れる機会を創出する、もしくは地元の企業や取り組み等を事例として紹介することで、地域を意識させるなどの工夫が必要となる。

「発信力」については全体平均が2.35とやや低い結果となっている。ゼミ等において発言の機会を増やす、グループワーク等で結果発表を積極的に行うなどの取り組みを検討する必要がある。また、相手を理解させる、納得させる等、ロジックを意識した発信の機会を増やしていけると良い。